

伐倒

日時：平成28年10月2日（日） 9：00～17：00

講師：中島 彩、丹羽 健司

概況



伐倒

伐倒を始める前に、つるがらみがないか、くされはないか、重心はどちらへ寄っているか、風は強くないか、周囲の地形はどうなっているか、といった全体的な状況を確認する。退避する場所を決め、邪魔になる低木等があれば伐り、足元もきれいにしておく。他の人間がどこにいるのかを把握し、伐倒の際には声掛けを行う。受け口・追い口を正確につくることができれば、伐倒方向をコントロールし、安全に作業をすることができる。

【講義】

○受け口

①方向

倒す木に体を寄せて、樹冠部に隙間がある方向や、障害物（家屋、電線、シカ柵、切り株 等）がないかを確認して、伐倒方向を決める。ある程度距離を置いて、伐倒

方向からも確認する。

②角度:60度

角度の深さで、ツルがいつまで効くかが決まる。

③深さ:直径の3分の1

④水平

⑤会合線の一致

○追い口

①入刀位置

②水平

③ツルの幅:直径の10分の1

重心に偏りがあれば、10分の1より大きくても倒れだすことがある。また、ツルの幅は均等に残さないと、伐倒方向がツルの幅が太い方へずれる。

【実習】

・チェーンソーの目立て

(安定した台で正確な角度を保持、クランプや目立てゲージ等の使用)

・一本ばしご、安全帯の使い方

・ロープによる牽引(結び方、牽引具の使い方)

・伐倒の実践